

2012年2月2日

ガルーダ・インドネシア航空 2011年度業績及び2012年度経営プランについて

TYOGA-5-FEBRUARY/12

ガルーダ・インドネシア航空会社(本社所在地:インドネシア ジャカルタ)の2011年度業績及び2012年度経営プランは以下の通りです。

- 2011年度業績 -

売上高(未監査): 27兆1000億ルピア(約2270億円)* - 前年比39%増

乗客数: 1,710万人(インドネシア国内線1390万人、国際線320万人) - 前年比36.8%増

ASK(Available Seat Kilometers): 325億ルピア(約2.72億円)* - 前年比26%増

イールド: 9.63米セント(約7.4円)** - 前年比12.4%増(2010年実績 8.6米セント(約6.6円))

運航便数: 13万43便(国内線・国際線含む) - 前年比27%増(2010年実績 10万3724便)

ロードファクター: 74.7% - 前年比5%増(2010年実績 71.1%)

保有機体数: 88機 - 前年より11機増***

平均機体年齢: 6.5年

* 1Rp = 約0.008JPYで換算した場合

**1USC = 約0.768JPYで換算した場合

*** エアバス330-200型2機、ボーイング737-800NG型9機

【新規路線】

マカッサル(Makassar)を第3のハブとし、シンガポールを始め、スラウェシ島(Sulawesi)、マルク島(Maluku)、パプア(Papua)の15都市でサービスを開始。また、国内線7路線を新規開設。国際線4路線をデ일리ー運航に増便。

【国内線】

マカッサル(Makassar)	=	ゴロンタロ(Grontalo)
スラバヤ(Surabaya)	=	アンボン(Ambon)
マカッサル(Makassar)	=	バリクパパン(Balikpapan)
マカッサル(Makassar)	=	シンガポール
マカッサル(Makassar)	=	テルナテ(Ternate)
スラバヤ(Surabaya)	=	バリクパパン(Balikpapan)
バリクパパン(Balikpapan)	=	ジョグジャカルタ(Jogjakarta)

PRESS RELEASE

ガルダ・インドネシア航空 プレスリリース

【国際線】

ジャカルタ(Jakarta)	=	上海 (Shanghai)
ジャカルタ(Jakarta)	=	ソウル(Seoul)
ジャカルタ(Jakarta)	=	シドニー(Sydney)
デンパサール(Denpasar)	=	ソウル(Seoul)

【2011年の活動内容】

ガルダ・インドネシア航空は、2月に株式公開に始まり様々な活動を行いました。

- ジャカルタ セナヤンシティにガルダ・インドネシアギャラリーをオープン
- 「ガルダ・インドネシア・エクスペリエンス」の一環として、インドネシアの各地から伝統的な音楽を集め、再編したオリジナル楽曲集「サウンド・オブ・インドネシア」を制作。
- 2011年10月、123機目のボーイング B737 シリーズを導入。
- エアバス A330-200 及びボーイング 737-800 NG の最先端 CAE シミュレーターを社内パイロットトレーニング用として導入、またゼネラル・エレクトリック(GE)社との人材育成プログラムを開始。
- 「スカイ・インテリア」搭載のボーイング 737-800 ネクストジェネレーションを初導入。
- シティリンク用にエアバス A320 を 50 機発注。
- 2011年11月にインドネシア最大の旅行イベント「ガルダ・インドネシア・トラベル・フェア」を開催。
- 3年連続受賞となる「非上場・非国営企業」部門における「Annual Report Award(アニュアルリポートアワード)」(ARA)を受賞。
- 「Good Corporate Government 賞(優良コーポレート・ガバナンス)」(GCG)を受賞。
- フォーチュン誌より「The Most Admired Company(最も賞賛される企業)」として選出される。
- 文部省による「Company Care for Education(教育へ関心のある企業)」賞を受賞。
- SWA マガジン(地元誌)と MARS 研究所による「Best Brand Award(最良ブランド賞)」を受賞。

- 2012年度経営プラン -

【2012年度経営プラン概要】

グローバルエアラインへの確立を目指す「クオンタムリープ」プログラムに伴い、以下の戦略的事業を実施する予定です。

1. 準組織変更
2. シティリンクの独立
3. メダン(Medan)の第四のハブ化
4. sub-100 seater aircraft の導入
5. スラバヤ空港(Surabaya Junanda Airport)での専用ターミナルの設置

PRESS RELEASE

ガルーダ・インドネシア航空 プレスリリース

ガルーダ・インドネシア航空は2012年にB737-800NG 4機、A330-200 2機、sub-100 seater Aircrafts 5機を含む計20機体と、シティリンクで使用するA320機 19機を新たに導入予定です。

これらの導入により、ガルーダ・インドネシア航空の保有機体数は計105機となり、平均機体年齢は5.7年となります。「クオインタムリープ」プログラムでは、2015年までに154機体を保有する予定です。

主な関連会社の事業については以下となります。

【Aerowisata】

- ガルーダ・オリエント・ホリデーズ事業を、台北(台湾)、中東そしてヨーロッパにて開業。
- 西ジャワ島及びビリトン島(Belitung Island)に、ホテル及びアパートメントを建設。
- パダン(Padang)、ジョグジャカルタ マグラン(Jogjakarta Magelang)そしてバタム(Batam)にてホテルマネジメント事業を開始。
- ングラライ(Ngurah Rai)空港(バリ島)、セピンガン(Sepinggan)空港(バリクパパン)、カウラナム(Kuala Namu)空港(メダン)そしてチェンカレン(Gengkareng)空港(ジャカルタ)にて、機内食の生産性を高める為に新たな厨房の導入。

【GMF Aero Asia】

- ジャカルタ チェンカレン(Jakarta Cengkareng)空港に、第四ハンガー チェンカレンを新設。
- マカッサル ハサヌディン(Makassar Sultan Hasanuddin)空港にハンガーを新設。
- ガスタービンエンジン及びエンジンショップの分社化。

2012年に新規参入が予想される路線は、以下の通りです。

ガルーダ・インドネシア航空は、現在国内31都市、海外18都市を運航し、また日本、中国、韓国及びオーストラリアに、子会社であるガルーダ・オリエント・ホリデーズの事業を展開しています。2012年には以下の通り、新路線開設及び増便を予定しています。

【新路線】

ジャカルタ=台北 B737-800NG
デンパサール=羽田(東京) A330-300

【増便】

ジャカルタ=ペカンバル(Pekanbaru) 毎日5便から6便へ
ジャカルタ=バタン(Batam) 毎日4便から5便へ
ジャカルタ=クアラルンプール(Kuala Lumpur) 毎日2便から3便へ



PRESS RELEASE

ガルーダ・インドネシア航空 プレスリリース

2012 年第三四半期には、マカッサル(Makassar)、メダン(Medan)、デンパサール(Denpasar)をハブとする以下の路線で、Sub-100 Seater 機を導入予定です。

【マカッサル線】

マカッサル(Makassar) = シンガポール(Singapore)

マカッサル(Makassar) = ターネイト(Ternate)

マカッサル(Makassar) = バリクパパン(Balikpapan) = ジョグジャカルタ(Jogjakarta)

マカッサル(Makassar) = スラバヤ(Surabaya) & マカッサル(Makassar) = アンボン(Ambon)

【メダン線】

メダン(Medan) = ペナン(Penang)

メダン(Medan) = バタン(Batam)

メダン(Medan) = パレンバン(Palembang)

メダン(Medan) = スラバヤ(Surabaya) * 直行便

メダン(Medan) = バタン(Batam) = ペカンバル(Pekanbaru)

【デンパサール線】

デンパサール = アンペナン(Ampenan)

デンパサール = マカッサル(Makassar)

デンパサール = バリクパパン(Balikpapan)

<本リリースに関する問い合わせ>

ガルーダ・インドネシア航空会社 マーケティング部 児玉・篠

【E-Mail】 tyock@garuda-indonesia.co.jp

<報道関係者からのお問い合わせ先>

ガルーダ・インドネシア航空 PR 事務局 高島・與芝(株式会社プラチナム内)

【E-Mail】 garuda@vectorinc.co.jp 【電話】 03-5572-6073

